

『私のボランティア活動』



「たいようの杜」”きねづかシェアリング”



「たいようの杜」の夏祭りでの”金魚すくい”を担当



「たいようの杜」で年末の餅つきを担当

愛知県長久手市に在住の田中さんがボランティア活動に取り組まれたきっかけは、2005年に長久手市で開催された「愛知万博」に何か協力できないかと思い立ち、万博協会の「ボランティアリーダー」に登録されました。

開催前年にリーダー研修を受けると共に、地元の“おもてなしボランティア”組織の立上げに参加協力されました。万博開催中はリーダーとしてボランティアの方々を指導・調整等に大活躍され、一方地元のボランティア組織でも活躍され大変良い思い出となっております。

万博後の活動は万博の理念を引継いだ“NEXPO”で地元の美化や各種行事に参加しておられます。

①万博開催に合わせて開通した「リニモ」(リニアモーターカー)を応援する“りにもねっと”ではトレインやリニモウォーキング等の手伝いをされています。②地元の福祉施設「たいようの杜」では現役で学んだ杵柄を生かした“きねづかシェアリング”に参加され、入居者・来訪者に色々な支援を年中無休(交代)でされています。例えば飼育している山羊の世話、美化、外出の介護等です。

③“リニモ駅広場の会”では雪山を作って遊んでもらうとか、交代で花壇の水遣りをされています。

今までで一番印象的だったのは東日本大震災の被災地 宮城県亘理地区を訪れ、浸水家屋の泥だしや後片付けの手伝いをしたことです。普段の生活が突然奪われてしまった姿に何とも言えませんでした。今後は防災や福島原発の放射能対策に関心をもって活動して行きたいと考えておられます。